

委員会視察成果報告書

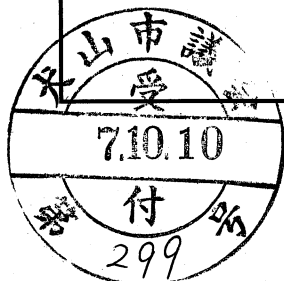
2025年10月10日

犬山市議会議長
大沢秀教様

議員名 増田修治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 10月 7日(火)
(2) 視 察 地	岡山県高梁市 高梁市立図書館
(3) 視察の種類	常任委員会（民生文教委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	高梁市は、急速に高齢化・人口減少に向かい、また観光としても衰退を辿っていた自治体でした。そこで、老朽化してきていた図書館を移転とともに、地域の交流拠点、観光起点となる複合施設へと再整備を行いました。この図書館は建築から8年経った今年度、第19回公共建築優秀賞も受賞し、未来につなぐ図書館をコンセプトに地域の方々、近隣市町の方々、観光客を含めて交流出来る施設として成果を上げています。そして入館者数が旧図書館と比べ、約20倍、経済効果も年間約12億円と試算されており、図書館を起点とした街づくりが成功しています。また、図書館の運営は指定管理として蔦屋グループのCCC株が行っており、図書館、本屋、カフェ、雑貨販売、イベント運営を行い、若者の集える場所の提供と、文学の発展、交流施設を見事に融合されています。また、民間とうまく連携することで、行政だけでは難しいアイデアやサービスの提供が行えています。アンケートでは約90%が満足されており、成功例モデルケースを視察出来ました。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	当市の図書館も開館より30年程度経過し、老朽化と合わせ、時代に合った図書館の在り方とは変化してきています。また、図書館を勉強や本好きの為の施設にするだけでなく、憩いの場、居場所としていくことで、図書に馴染み、社会問題となっている活字離れ対策にも一役買えるとも考えます。時代にあった図書館の再整備の検討を始めるとともに、交流拠点となる様、活用が進むことに期待します。



委員会視察成果報告書

2025年10月10日

犬山市議会議長
大 沢 秀 教 様

議員名 増 田 修 治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 10月 8日(水)
(2) 視 察 地	兵庫県西宮市
(3) 視察の種類	常任委員会（民生文教委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	西宮市は、近隣大都市のベッドタウンとして、昨今はマンションもどんどん建設され、共働き子育て世代が急速に増えている自治体です。平成26年には待機児童0だった児童数もその後増え続けたことから、地域型保育事業、小規模保育事業所の整備を進めてきました。現在も待機児童は解消しておらず、待機児童数が全国ワースト2位となっており、多くの取組みも行い、解消に向けて運営をおこなっています。その多くが民間事業者で運営されており、今後も財政面も含め、なるべく公立を減らし、全園を民間に託していけるよう勧めています。また、保育士も不足していることから、保育士確保の補助として、1.3.5年目に10万円を支給することで、採用と定着に繋がる施策を掲げています。また、待機児童問題に伴い、放課後児童クラブも飽和してきており、こちらも民間の指定管理や、民設民営の施設運営を行っております。都市圏での課題は今後、地方へも波及する課題であり、民間移行の急速な推進は今後の流れであると感じました。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	規模は違えど、夫婦共働きが当たり前の社会となる中、待機児童・未満児に対応した保育の在り方は今後も大きな課題であります。 また、西宮市のような都市圏自治体で若年人口が増加傾向にあっても財政難を憂い、民間移行を急速に進めています。当市においても、民間活力を活かしながら、社会課題の解決を考えていくことは重要です。今後も民間企業とのより強固な連携、移行に期待します。